

Tidings of flowers

2025年(令和7年)9月18日 福山市立山手小学校

福川の魅力を届けてくれました！

9月12日(金)の昼休憩、近畿大学附属広島高等学校・中学校福山校の科学部の顧問の先生と生徒9名が、振替休業日を利用して、山手小学校に来てくださいました。山手小学校の目の前を流れる福川に生息する生き物たちを紹介する活動です。生徒のみなさんは、2時間ほど前から来校され、福川の生き物を採集して簡易水族館を作り、山手小学校のサイエンスクラブのこどもたち(4～6年生)に見せてくださいました。

科学部のみなさんは、楽しいクイズを交えながら、メダカをはじめ、オイカワ、カワムツの稚魚、タイリクバラタナゴ、ヨシノボリ、テナガエビ、スジエビ、…多くの生き物を紹介してくれました。驚いたことは、山手町の田んぼの用水路にも自然のメダカが生息していることです！福川にこんなに多くの宝がいたなんて！科学部のみなさんは、福川の自然を守る取組も行っておられます。

6年生のこどもが、「僕たちの学校にも福川水族館をつくりたいな！」とわくわくしながら話してくれました。

科学部のみなさん、ありがとうございました🍀



山手町を流れる全長約
5kmの一級河川



「サギをはじめ、多くの鳥もやってきます。清流の宝石と呼ばれるカワセミも飛んでくるんですよ！全長70cmくらいの大きなナマズだっています！福川は生き物たちの宝庫です！生き物たちの命を守りながら、私たちの生活を守る環境をつくっていただければいいですね！声を出していくことが大切ですね。」



歓声をあげながら、水槽をのぞき込んでいました！

「今日のこの水槽の中には全部で何種類の生き物がいるでしょうか？」
「10？15？」
「マツカサガイなどの貝が6種類、メダカなどの魚が8種類、ヌマエビなどのエビが4種類の全部で18種類です！」
「え～そんなにいるの??？」

